

2-2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

23年度		24年度		25年度	
順位	%	順位	%	順位	%
24	7.5%	25	7.0%	24	74.9%

3 総合評価

C	政策の目的がそこそこ達成されている		
【客観指標】・農業粗生産額について、農業総産出額は日本全体では前年度から増加しており、本市においても、中山間及び都市的農業地域における農産物の生産拡大等の取組により、前年度と比較して生産額が増加し、昨年度に引き続きa評価となった。 ・林業粗生産額について、林業産出額は日本全体では前年度から減少しており、本市においても、材木市場の流通価格の下落等の市況の影響から、前年度と比較して生産額が減少し、b評価となった。 【市民の実感】・市民の実感については、全体として昨年度と同様の評価となった。 ・農林業の地域社会における有用性については「どちらとも言えない」との回答が多数となったほかは、やや否定的な評価となっており、農林業を身近に感じられていない状況がうかがわれる。 【総括】・客観指標が市民の実感を上回る結果となった。 ・農業粗生産額は増加傾向にあるが、農林業の多面的機能やより身近な農林業の取組を市民に発信する余地はうかがわれる。 ・こうしたことを総合的に勘案し、この政策の目的は、そこそこ達成されていると評価する。		24年度	B
		23年度	B

政策名	10	農林業			
指標名	農業粗生産額（百万円）				
担当部室	農林振興室	連絡先	2 2 2 - 3 3 5 1		
1 指標の説明					
市内農業によって得られた年間の粗生産額					
2 指標の意味			3 算出方法・出典等		
産業として魅力があり、環境や社会に貢献するとともに、市民参画が推進された農林業の構築状況を示す指標			出典：事業担当課調べ		
4 数値					
10年後の（平成32年度）目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠		
	14,834	18,000	京都市農林行政基本方針の平成31年度目標値		
	前回数値 22年度	最新数値 23年度	推移	単年度目標値	
				数値	根拠
数値	15,438	15,784	346百万円増	17,109	京都市農林行政基本方針の目標達成のために当年度達成すべき数値＝平成19年度現況値（16,474百万円）と京都市農林行政基本方針の目標数値（平成31年度18,000百万円）から各年度の目標数値を等差的に算出
	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値		18,000	31年度	87.7%	
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果
最新数値の目標値に対する達成度が a：80%以上 b：60%以上～80%未満 c：40%以上～60%未満 d：20%以上～40%未満 e：20					